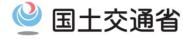
流域治水オフィシャルサポーター R6年度取り組み実績



認定番号:31 サポーター名:大日本ダイヤコンサルタント株式会社

取組実績

・会社ウェブサイトに流域治水関連のページを開設。

(URL: https://www.dd-con.co.jp/service/planning-design/river.html)

・ロゴマーク※を名刺やヘルメットに印刷し、流域治水を周知した。





※流域治水の取組について、地域住民・企業等が 理解し、親しみを持ってもらうことを目的に、公益 社団法人日本河川協会の会員組織「"とやま"川 の会」(当社事務局)では、富山独自のロゴマーク を富山河川国道事務所、富山県河川課等の指導 のもと作成し、その活用を図っている。詳細は、河川 文化107号(2024.9)「会員の活動紹介」に 掲載。



"とやま"川の会サークル活動 一流域治水とやまのロゴマークー

"とやま"川の公事得易

高山は海水と開発的ラブでを 加速地、油料で加速化であってあた。 その資産料料が開発にあっており、予約の利益料 をの資産料料が開発にあっており、予約の利益料 がたてものではない、自然の利益制度を占めて開始し、 も、そのから、契約の利益制度を占が可能し、 があり起こはからを参考が大きった。そので、適 他の意とは可能からを助ったのはのが必要とし、 はのも同様にあった。対象に対象に対象に対して (200) はありまたを、対象に対象に対象に対象に対象 (200) はありまたをあり、対象に対象に対象に対象 (200) はありまたをあり、大きの事業をの関係的 を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象 (200) は、対象に対象に対象に対象に対象 (200) は、は、対象に対象に対象が対象に対象 (200) は、は、対象を対象に対象が対象に対象 (200) は、は、対象を対象を対象とない。

Barrens S

BLATTER S

一方、温泉の出版を付款に、安立を集下へ取記・電 他の事品、観点や小学館の点点と 守在でも継載、選の の高とび、洗金を直接受からいように並の様の利金の構 を立とせ合いるた。北京規則の一分サービ物のため、 場施の了機から大人をで電影の出版工事にそのそれの様 力に応じて関かっており、そででがたは毎年報告をす で継続の選択の目標と「生を生だない」となった。 は、最初した選出で、未代明このと目標に、当を当 申書、上市などを特率的に返し、率額均の上継報に



(今のである。 か、京田的小でも生物を利用を発出し、作る報告 ので実施力に対する人でいるか。 だ、無知から の本、理想に対する美術的な一般では高しに対 とも数元の意本 しているい、ラースで、成地のカッド(高級力を上して がいましてもくうかっかけこして、前山を明日 相称、取る地には渡りの海中のよと田の後ののタッ かのまし、一般している人をかった。

新すで実施している。 (実施をかずりジェナ り) での日天や報道機関・水炭性の数の表 通シシボルとして利用していくことを考 点る。 ロブマーケの天道テーマは、前1店の報告 である「とやまの口道剤、造進利用、特殊。

ログマーテの天道サーマは、前もあの朝 である「とやまの山西海、急進所刊、四日 辞状、山と用と海と 赤もしをみんなでき ら」とする。

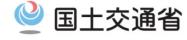
家の作成を行った。 分割の存成の時は、作成したロワマー 行政職員令 "とやま" 目の会の会員。 前点まフィントルキボーター」が要の 意見、イベントのチラシ、委員会管督。

の様とフィントをローフー」の定的ない 名割、イベントのチャン、受抗会管料、ハイ メートでの法理を考えている。 また、とやまの混凝合水のロゴマークや4 日朝みを記載した連伸機を応収し取内のイ 学校への配合や、製洗剤機などのイベンと5

24 701011-1079 00010

090 167 N (2004 3) 25

流域治水オフィシャルサポーター R6年度取り組み実績



認定番号:31 サポーター名:大日本ダイヤコンサルタント株式会社

取組 実績 ·令和6年11月14日

"とやま"川の会の令和6年度現地研修会「庄川昭和9年水害から90年」の資料にロゴマークを印刷し、流域治水を周知。(当社は事務局として協力)

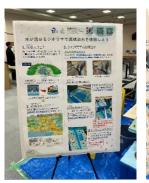


・令和6年11月18日 技術士会富山支部講演会にて流域 治水を踏まえた防災技術に関して 講演(時代の流れのなかで学んで きた防災の技術)、併せて流域 治水及びロゴマークを説明も含めて 流域治水を周知。



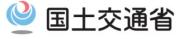
・令和6年7月27日 富山駅構内で開催された、「ともに考え、 つながる流域ぷらっとフォームシンポジ ウム」に運営補助として参加(業務対応)。 また、富山県立大学との今後の共同研究を 踏まえ、シンポジウムに参加。流域治水の 体験ができる模型を展示。







流域治水オフィシャルサポーター R6年度取り組み実績



認定番号:31 サポーター名:大日本ダイヤコンサルタント株式会社

取組 実績

・川への興味を深めてもらうことで、流域治水に関心を 持つ人の視野を広げるための学習会を行い、流域治水 による防災・減災や環境の保全・創出について啓発。

・埼玉県庁オープンデーで学習会「川の国 お魚教室」を実施。

実施日:令和6年11月14日(土)10:00~16:00

場所:埼玉県庁 第三庁舎 3階 環境部環境政策課前ロビー

参加者:616人(県民)

・令和6年1月25日「埼玉県主催の希少種保全の検討会」に 環境アドバイザーとして参加、令和6年2月10日「埼玉県主催 ~未来の流れを埼玉県の川から~ 川の再生交流会2024 第3部第5分科会[水辺の生物]」に司会進行役として参加し、 川の環境保全を通して流域治水の大切さを周知。

・被害予測シミュレーションに関するリーフレットの配布

